

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成19年3月6日	
		作成部署	土木建築部河川整備管理室	
事業名	千々川広域基幹河川改修事業	構想番号	(土・河整)構-18-02	
		地区名	亀岡市千代川町小川～北ノ庄	
概算事業費	3,260百万円	事業期間	平成4年度～平成28年度(予定)	
事業概要	過去に浸水被害が発生しており、流下能力も低いことから、河川の護岸改修を行う。 L=1,280m			
関連する公共事業	桂川広域基幹河川改修事業 (S50～)			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点			
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 物質循環(土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	現在の当該河川は、ブロックや石積みなどによる人工的な護岸構造であり、横断方向の河川植生の連続性が失われていることから、その回復が必要である。	現地の土を使った緩やかな法面の土羽構造を採用し、ブロック等人工構造物を極力使用しないことで、河川植生の回復に配慮する。 また将来的に護岸に構造物を設置する場合でも空隙の多い材料を使うなど、植生の回復と小動物の生息空間の確保に配慮を行う。	△
生活環境	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	事業実施に伴い掘削土砂が大量に発生することが見込まれるが、極力土砂の発生を抑制する必要がある。	掘削土砂については、築堤工事等に利用するとともに、隣接の田圃を嵩上げするなど、再利用による不要な残土の発生を抑制する。	△
地域個性・文化環境	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行事 地域住民との協働 など	当該河川は、亀岡市北西部を流れる河川であり、周辺には田園地帯が広がっているため、地域住民が親しみやすく、周囲の景観に合わせた河川環境の創出が必要である。	河床を一部切り下げ、川底に蛇行した水路を設置することで、多様性のある水辺空間を創出し、植生の回復により田園地帯にふさわしい河川景観を維持する。	△
地域の環境像	施行地周辺は亀岡有数の田園地帯であり、豊かな自然と美しい水田の景観に恵まれた府内でも有数の地域である。河川植生の連続性を回復することで、地域の自然の面的な広がりや自然景観を維持するとともに、地域住民の河川への親しみやすさを確保していく必要がある。			